

年間授業計画

第四商業高等学校（2学年用）

教科： 商業	科目 財務会計Ⅰ	単位数： 4 単位
◆対象学年組： 2 学年 A 組～	E 組	
◆使用教科書： 高校財務会計Ⅰ（実教出版）		
◆教 科： 商業	の目標：	

【知 識 及 び 技 能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目 財務会計Ⅰ	の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業活動や経営活動におけるビジネスに関する会計処理の重要性を経済社会における事例と関連付けて理解している。また、全商簿記実務検定の1級合格を目指して学習に取り組んでいる。	企業活動や経営活動における課題をビジネスに関する会計処理の重要性と関連付けながら発見し、根拠に基づいて対応策を考案している。また、実在する企業の財務諸表を読み解き、そこから企業が抱える問題点やその後の展望などを思考・推察する。	企業活動や経営活動における企業倫理の重要性について、自ら学び、企業活動や経営活動に関する事例などについて、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 財務会計の基礎（財務諸表の作成） 【知識及び技能】 ・企業会計と財務会計の意義・目的・役割などを理解させ、学習の心構えを養う。 ・資産、負債、純資産、費用、収益、純利益それぞれの意味や概念を理解させる。 ・企業会計における「決算整理」の基礎的な知識を身に着ける。 ・「決算整理」の作業を実施するにあたり、現金過不足の処理、売上原価の算定、貸し倒れの見積もり、有価証券の評価、」固定資産の減価償却、貯蔵品の処理、費用と収益の繰り延べ、費用と収益の見越し、引出金の整理といった決算整理事項についての知識を身に着け、それを適切に処理する技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・企業会計や財務会計、企業担当者や企業が負う責任について学習する。 ・取引によって資産・負債・資本の増減から、期首と期末の財政状態に変化が生じ、その差額が純損益であることを理解させる。 ・損益取引によって生じる収益総額と費用総額の差額が純損益であることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・財務会計の意義、役割、機能、会計担当者の役割と責任、企業の社会的責任について自ら学び主体的に組む姿勢を育む。	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商2級（実教出版）	【知識・技能】 ・企業会計における「決算整理」の基礎的な知識を身に付けたか。 ・企業会計における「決算整理」の意義、決算整理に必要な理由について理解している。 ・現金過不足の処理、売上原価の算定、貸し倒れの見積もり、有価証券の評価、」固定資産の減価償却、貯蔵品の処理、費用と収益の繰り延べ、費用と収益の見越し、引出金の整理といった決算整理事項について、それぞれの概要や関連する知識を身に着けている。 ・個別の決算整理事項について、ひとつひとつの決算整理仕訳の意味を理解し、適切に処理する技術を習得している。 【思考・判断・表現】 ・企業会計の全般的な決算整理の意義について理解したうえで、個別具体的な決算整理事項に対して、それぞれの決算整理をおこなう必要性を考え、自分自身の言葉で表現しようとしている。 ・企業会計において前払費用、未収収益を収益として処理し、未払費用、前受収益を負債として考え、自分自身の言葉で表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・企業会計における決算整理の意義とそれぞれの決算整理事項の内容および必要性について自ら学び、それぞれの決算整理仕訳の方法を、主体的かつ積極的に身に着けようとしている。 ・企業会計における前払費用、未収収益を資産処理し、未払費用、前受収益を負債処理する理由について、主体的に学習しようとしている。	○	○	○	12
	B 資産・負債・純資産・費用・収益（その1） 【知識及び技能】 ・資産の意味と分類、負債の意味と分類、純資産の意味と分類について学習する。 ・費用の意味と分類、収益の意味と分類について学習する。 ・流動資産（当座資産、棚卸資産、その他の流動資産）、固定資産（有形固定資産、無形固定資産）について学習し、該当する各取引の仕訳の仕方を十分理解させる。 ・流動負債、固定負債について学習し、該当する各取引の仕訳の仕方を十分理解させる。 ・収益、費用について学習し、該当する各取引の仕訳の仕方を十分理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「資産」「負債」「純資産」「費用」「収益」に分類される中で、「掛け取引」「手形取引」「資本の引き出し」「企業の税金」等について学習する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・財務会計における各種取引について、資産・負債・純資産・費用・収益の分類とそれぞれの基準について学習する。	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商2級（実教出版）	【知識・技能】 ・資産にはどのようなものがあるかについて意味を理解しているか。 ・受取手形、売掛金の貸借対照表への表示方法を理解しているか。 ・保有目的に応じた有価証券の会計処理や期末評価の方法、評価差額の処理方法について理解しているか。 ・金銭債権区分について理解し、貸倒見積高の計算ができるか。 ・減価償却費の計算方法と財務諸表への表示方法について理解し、実際に指定された方法で減価償却費を計算することができるか。 【思考・判断・表現】 ・掛け取引、手形取引を利用することのメリットとデメリットについて考え、自分自身の言葉で表現しようとしている。 ・有価証券の期末評価によって生じた評価差額金を計上する理由を、自分自身の言葉で説明することができるか。 ・有形固定資産について生じる支出が、資本的支出であるか収益的支出であるかを判断することができる。 ・資産の評価を正しく行わなかったことにより生じる問題について考え、自分自身の言葉で説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・財務会計における各種取引について、資産・負債・純資産・費用・収益の分類とそれぞれの基準について学習しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査	・指導事項・教材等		○	○		1
	C 企業の会計帳簿と帳簿組織 【知識及び技能】 ・企業の各種帳簿と商簿組織の意味と種類を理解させる。 ・「現金出納帳」「当座預金出納帳」「小口現金出納帳」「仕入帳」「売上帳」「商品有高帳」「売掛金元帳」「買掛金元帳」「受取手形記入帳」「支払手形記入帳」の意味や仕組みの関係について、資料等を使って理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「現金出納帳」「当座預金出納帳」「小口現金出納帳」「仕入帳」「売上帳」「商品有高帳」「売掛金元帳」「買掛金元帳」「受取手形記入帳」「支払手形記入帳」それぞれの特徴や役割について学習する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・帳簿の種類、および企業内部における帳簿の役割や重要性について学習する。	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商2級（実教出版）	【知識・技能】 ・主要簿と補助簿の種類とそれぞれの帳簿の関係、企業の分課制度の意味や利点に関する基礎的な知識を身に付け、帳簿の重要性について理解している。 ・「現金出納帳」「当座預金出納帳」「小口現金出納帳」「仕入帳」「売上帳」「商品有高帳」「売掛金元帳」「買掛金元帳」「受取手形記入帳」「支払手形記入帳」に記入する方法を習得している。 【思考・判断・表現】 ・「現金出納帳」「当座預金出納帳」「小口現金出納帳」「仕入帳」「売上帳」「商品有高帳」「売掛金元帳」「買掛金元帳」「受取手形記入帳」「支払手形記入帳」それぞれの特徴や役割について考え、自分自身の言葉で表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・帳簿の種類、および企業内部における帳簿の役割や重要性について理解し、主体的かつ積極的に学習しようとしている。 ・各種取引や帳簿に関して、その仕組みについて自ら学び、各種補助簿への記入方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている。	○	○	○	15
	D 資産・負債・純資産・費用・収益（その2） 【知識及び技能】 ・手形の種類やその仕組み、約束手形の振出、受取、裏書、割引、書換、不渡りおよび営業外手形に関する基本的な取引および仕訳について記帳方法を学習する。 ・「営業外受取手形」「営業外支払手形」に関する学習する。 ・「有価証券」の具体的な分類について理解を深め、その種別や売却した時の仕訳について学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「手形取引」や「有価証券」を利用する取引について考え学習する。 ・約束手形の記載事項から、各立場になって取引を思考してどのような取引なのかを判断する力をつける。 ・手形の裏書、割引、書換を行う理由について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「有価証券」について、手形の種類とそのしくみ、約束手形に関する取引、および営業取引以外から生じる手形取引について学習する。	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商2級（実教出版）	【知識・技能】 ・手形の種類とその仕組み、約束手形の振出、受取、裏書、割引、書換、不渡りおよび営業外手形に関する基本的な取引および仕訳について理解している。 ・「営業外受取手形」「営業外支払手形」の記帳方法を理解して、適切に処理できる。 ・「有価証券」の具体的な分類について理解を深め、その種別や売却した時の取引を理解して正しい仕訳ができる。 【思考・判断・表現】 ・「手形取引」や「有価証券」を利用する取引について考え、自分自身の言葉で表現しようとしている。 ・約束手形の記載事項から、各立場になって取引を思考してどのような取引なのかを判断することができる。 ・手形の裏書、割引、書換を行う理由についてそれぞれ考えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「有価証券」について、手形の種類とそのしくみ、約束手形に関する取引、および営業取引以外から生じる手形取引について自ら学び、各取引の仕訳の方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている。 ・特殊な取引について関心を持ち、実務と関連づけながら意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	15

	定期考査	・指導事項・教材等		○	○		1
2 学期	E 支店会計 【知識及び技能】 ・本支店の取引を記帳する方法として、支店会計の独立の意義について学習する。 ・支店会計が独立している場合の、本店と支店間の取引、支店間の取引の記帳方法、および支店が計上した当期純損益について学習する。 ・本店および支店の財務諸表を合併することの意義について学習する。 ・本支店間の未達事項を整理して、合併貸借対照表および合併損益計算書を作成する方法について学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・なぜ合併財務諸表を作成する必要があるかについて考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本支店会計について自ら学び主体的に組む姿勢を育む。	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商2級（実教出版）	【知識・技能】 ・支店の取引を記帳する方法について理解し、そのひとつとして支店会計の独立があることを理解している。 ・支店勘定と本店勘定の残高が貸借反対で一致する理由を考えている。 ・支店会計が独立している場合の、本店および支店それぞれの取引の記帳方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・本支店会計を独立させる理由について考えようとしている。 ・支店勘定と本店勘定の残高が貸借反対で一致する理由を考えている。 本店及び支店の財務諸表を合併して企業外部の利害関係者に報告することの必要性について考え、自分自身の言葉で表現できるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・支店の取引を記帳する方法について自ら学び、支店会計が独立している場合の、本店および支店それぞれの取引の記帳方法を、主体的積極的に身に付けようとしている。 ・本店及び支店の財務諸表をげあっペイする意義について自ら学び、未達取引を整理して、合併財務諸表を作成する方法を、主体的かつ積極的に学習しようとしている。	○	○	○	15
	F 株式会社の記帳 【知識及び技能】 ・株式会社の仕組みとその設立について学習する。 ・株式会社の設立時や設立後における株式発行により増加する資本金などの会計処理について学習する。 ・創立費、開発費、株式交付費の意味とその会計処理について学習する。 ・株式会社に課される法人税、住民税、事業税の会計処理について学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・株式発行に伴う払い込み金額のうち、資本金に計上される金額について適切な処理をできる力を習得する。 ・株式会社において要した費用が創立費、開発費、株式交付費のいずれに該当するかについて適切に判断し、処理できる力を習得する。 ・企業会計における会計処理をどの分類になるかを判断できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・株式会社の仕組みとその設立、株式の発行に関する会計処理、創立費、開発費、株式交付費の意味とその会計処理などについて、主体的に学習する姿勢を育む。 ・株式会社の税務について自ら学び、主体的に取り組む姿勢を育む。	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商2級（実教出版）	【知識及び技能】 ・株式会社の仕組みとその設立の概要、関連する基礎的な用語について理解している。 ・株式会社の設立時や設立後における株式発行にともなう払い込み金額の会計処理について理解している。 ・創立費、開発費、株式交付費の意味とその会計処理について理解している。 ・株式会社に課される税金として、法人税、住民税、事業税の意味とそれらの会計処理について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・株式発行にともなう払い込み金額のうち、資本金に計上される金額を判断し、適切な処理をおこなうことができる。 ・株式会社において要した費用が創立費、開発費、株式交付費のいずれに該当するかについて判断し、適切な処理を行うことができる。 ・株式会社において要した費用が創立費、開発費、株式交付費のいずれに該当するかについて適切に判断し、処理できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・株式会社の仕組みとその設立、株式の発行に関する会計処理、創立費、開発費、株式交付費の意味とその会計処理などについて、主体的かつ積極的に学習しようとしている。 ・株式会社の法人税、住民税、事業税の会計処理について、主体的かつ積極的に学習しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査	・指導事項・教材等		○	○		1
3 学期	G その他の取引 【知識及び技能】 ・固定資産を売却した場合の会計処理について学習する。 ・電子記録債権および債権の意義と会計処理について理解し学習する。 ・クレジット売掛金の意義と会計処理の方法について学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・有形固定資産を売却した場合の仕訳について、それぞれの勘定科目が持つ意味について学習する。 ・紙に代わる新しい決済手段として、電子記録債権を使用することのメリットについて学習する。 ・クレジットカード決済がどのように行われるかについて、その仕組みを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・有形固定資産の売却に関する会計処理について学習する。 ・売上債権および金銭債権の意味、金銭債権の区分と貸倒見積高の計算方法、電子記録債権やクレジット売掛金の意義と会計処理などについて学習する。	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商3級（実教出版）	【知識・技能】 ・有形固定資産を売却した場合の会計処理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・有形固定資産を売却した場合の仕訳について、それぞれの勘定科目が持つ意味について考え、適切な処理を行うことができる。 ・紙に代わる新しい決済手段として、電子記録債権を使用することのメリットについて考え、自分の言葉で表現できる。 ・クレジットカード決済がどのように行われるかについて、自分自身の言葉で説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・有形固定資産の売却に関する会計処理について、主体的かつ積極的に学習しようとしている。 ・売上債権および金銭債権の意味、金銭債権の区分と貸倒見積高の計算方法、電子記録債権やクレジット売掛金の意義と会計処理などについて、主体的かつ積極的に学習しようとしている。	○	○	○	15
	H 仕訳伝票と3伝票制 【知識及び技能】 ・伝票の意義、仕訳伝票、3伝票制の概要、および入金伝票、出金伝票、振替伝票のそれぞれの起票方法について学習する。 ・伝票から仕訳集計表を作成し、総勘定元帳や各種補助簿に転記する方法について学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・仕訳帳ではなく伝票を用いて取引を記録する理由について考える。 ・伝票を用いた場合、補助簿には個別転記しなければならない理由について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・証ひょうや伝票の意義、3伝票制による記帳について学び、各取引を起票・集計・転記の流れにそって記録する方法を身に付ける。	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商2級（実教出版）	【知識・技能】 ・証ひょうなどにもとづいて伝票を起票し、仕訳集計表に集計して、総勘定元帳や各種補助簿に転記するという一連の流れを理解している。 ・起票、集計、転記の流れにそって、具体的な取引を記録する方法を習得している。 【思考・判断・表現】 ・仕訳帳ではなく伝票を用いて取引を記録する理由について考えようとしている。 ・伝票を用いた場合、補助簿には個別転記しなければならない理由について考えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・証ひょうや伝票の意義、3伝票制による記帳について自ら学び、各取引を起票・集計・転記の流れにそって記録する方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている。	○	○	○	12
	定期考査	・指導事項・教材等		○	○		1
3 学期	I 全商簿記検定2級検定練習問題 【知識及び技能】 ・これまでの財務会計の学習を通して、仕訳・帳簿・伝票・文章・計算・決算の各問題を取り組ませる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・今までに学習したテーマをもとに検定試験の問題に取り組み、正解を導き出す思考および判断力をつける。 ・複雑な計算問題の解き方を説明し、理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・今後、検定試験の上位級にチャレンジし、財務会計について積極的に学習する精神を育てる。	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商2級（実教出版）	【知識・技能】 ・これまでの財務会計の学習を通して、全商簿記検定2級合格レベルまでの知識を習得し、正確に記述する技能があるかどうか。 【思考・判断・表現】 ・財務会計に関する具体的な問題に取り組み、正しい知識をもって学習しているかどうか。 ・計算問題等応用力を問う問題にも積極的に取り組んでいるかどうか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・検定合格に到達したことで満足せず、満点を目指して取り組んでいるかどうか。	○	○	○	12
	J 仕訳伝票と5伝票制 【知識及び技能】 ・伝票の意義、仕訳伝票、5伝票制の概要、および入金伝票、出金伝票、振替伝票のそれぞれの起票方法について学習する。 ・伝票から仕訳集計表を作成し、総勘定元帳や各種補助簿に転記する方法について学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・仕訳帳ではなく伝票を用いて取引を記録する理由について考える。 ・伝票を用いた場合、補助簿には個別転記しなければならない理由について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・証ひょうや伝票の意義、3伝票制による記帳について学び、各取引を起票・集計・転記の流れにそって記録する方法を身に付ける。	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商2級（実教出版）	【知識・技能】 ・証ひょうなどにもとづいて伝票を起票し、仕訳集計表に集計して、総勘定元帳や各種補助簿に転記するという一連の流れを理解している。 ・起票、集計、転記の流れにそって、具体的な取引を記録する方法を習得している。 【思考・判断・表現】 ・仕訳帳ではなく伝票を用いて取引を記録する理由について考えようとしている。 ・伝票を用いた場合、補助簿には個別転記しなければならない理由について考えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・証ひょうや伝票の意義、5伝票制による記帳について自ら学び、各取引を起票・集計・転記の流れにそって記録する方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている。	○	○	○	12
	定期考査	・指導事項・教材等		○	○	○	1
							合計 140